

# 夏は“乾き”に要注意!! プロ直伝!! 夏の洗車アドバイス

コーティング施工後、塗装を長くキレイに保つためには、こまめに洗車することが大切です。しかし正しい洗車をしなければ、逆効果になってしまう可能性もあります。特に夏は水やシャンプーが乾きやすく、うかかしていると塗装を傷めてしまうことも…。そこでvol.88でクリスタルキーパーを初施工したカーパータイムズ編集人・田中慎也が再び登場。洗車のプロに家庭での洗車アドバイスをしてもらいました!

## Lesson1 スタート

### 塗装が熱い状態で洗車をしない!

日差しが強い季節・時間帯は、車のボディが熱くなるため、水やシャンプーが乾きやすく水シミやキズをできやすくしてしまう可能性があります。夏場は、洗車を始める前に水をかけて塗装をよく冷やし、朝か夕方、日陰で行うようにしましょう。



えっ、すぐ洗車しちゃいけないの?

塗装が熱い状態はNG!

カーパータイムズ編集人  
田中 慎也

塗装をクールダウンさせてから洗車をはじめましょう!

KeepPer LABO大府店  
チーフ 上谷 祐介

## Lesson2 水洗い

### できるだけ高圧の水で まず大きな汚れをとばそう!

ボディの上から、できるだけ勢よく水をかけ、汚れをとばします。ドアの隙間や下回りにも泥やホコリがたまっているの、忘れずに念入りに洗いましょう!



## Lesson3 洗車1

### シャンプーはよく泡立てて使おう!

原液のシャンプーをそのまま使うと濃度が高いため、乾きやすくシミになりやすくなります。よく泡立てたシャンプーを使うことで、泡がクッション代わりに塗料を傷つけることなく洗うことができます。



直接塗るのはNG!

#### memo

#### 必ずシャンプーを使って洗車をしましょう!

水だけで洗車すると塗装が傷ついてしまうことがあります。必ずシャンプーを泡立てて、洗車をしましょう。なかには、シャンプーで効果が落ちてしまうコーティングもありますが、キーパーコーティングでは、効果が落ちることはありませんのでご安心を!



## Lesson4 洗車2

### 円を描かず、 一定方向で直線的に洗おう!

円を描くように洗うと、洗い残しが出てしまいます。直線的に一定方向で洗いましょう。天井から順に洗っていきましょう。



#### memo

#### 羊毛などで作られた 柔らかいモップを 利用しよう!

たっぷりの泡を含み、ソフトタッチで、素早く細かなところまで作業できます。毛質が柔らかいため、付いた砂やホコリは水で洗えば落ち、次の洗車時に塗装を傷つけません。



「ラ・モップⅡ」 ¥3,500 (税別)  
※ご希望の方は店頭にお問合せください。

## Lesson5 すすぎ

### 一部分をシャンプーしたら、すぐに水で洗い流しましょう!

全体をイッキに洗ってから、すすぐのはNG。特に暑い季節や日差しが強い時間帯は、洗い始めの部分が乾いてしまい、シミになります。シャンプーのシミは水よりも危険! 塗装を浸食してしまう可能性があります。一部分を洗ったら、すぐにすすぐことを繰り返しましょう。



イッキに全体を洗うのはNG!  
シミの原因になります!

## Lesson6 水減らし

### 吸水クロスで、水分をイッキに減らす!

乾いたタオルで何回も拭くのも塗装を傷めるためNG。水を含ませ固く絞った吸水クロス(プラセームなど)で水分をイッキに減らしてから、残った水分をタオルで拭き上げましょう。



吸水クロスなら  
一回でこんなに水を  
吸い取ります!!

細かいところに  
残った水分は  
タオルで!

#### memo

#### 水分は、すぐに 拭き上げるのが鉄則!

シャンプーを洗い流した後は、すぐ水分を拭き上げましょう。自然乾燥させてしまうと水玉の後がつき、水シミ発生の原因になります。



しんどいわ~

自然乾燥はNG!

## Lesson7 完成

### 結論。夏の洗車は、ひと苦労…。 プロに任せた方がキレイになるし、安全!

自分でも洗車はできますが、どうしても細かい汚れが残るし、大変な労力と時間がかかってしまいます。そう考えると、下手に自分で洗車するより、洗車機を使った方がいいこともあります。プロの手洗い洗車は、断然速くて、下回りやサイドミラーの隙間などもきちんとキレイになり、最高のコンディションで洗車が終わります。やはり洗車はプロに任せるのが一番です!!

